

Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820

インストレーション ガイド

初版発行日：2015 年 8 月

最終更新：2015 年 10 月

一般情報

Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 の概要

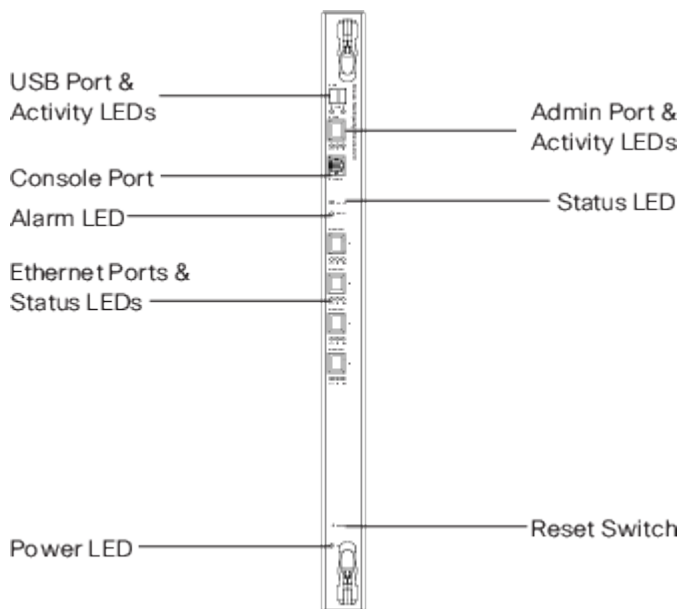
Cisco TelePresence MSE 8000 シャーシに適合する Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 (Media 820) は、連続表示高解像度ビデオ会議と実現可能な最高の音声品質を組み合わせた、技術的に高度なメディア プロセッサです。

注：Media 820 をサポートするには、Cisco TelePresence Supervisor MSE 8050 でバージョン 2.3(1.38) より後のソフトウェアが実行されている必要があります。

ポートおよび LED の位置

次の図に、Media 820 上のポートと LED の位置を示します (リセット スイッチは将来の展開に備えて用意されています)。

図 1：Media 820 の前面パネル



LED の動作


次の表で、Media 820 の前面パネルに搭載されている LED の動作について説明します。

表 1 Media 820 前面パネルの LED の動作

LED	色	意味
USB ポート アクティビティ	グリーン	将来の展開用に予約済み。
管理ポート* の状況		
	Act	グリーン このポートでパケットを送信中です。
	10	グリーン 10BASE-T イーサネット リンクが確立されています。
	100	グリーン 100BASE-TX イーサネット リンクが確立されています。
ステータス	グリーン	Media 820 は正常に動作しています。
アラーム	赤	Media 820 が起動中であるか、次のような障害が発生しています。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が正常範囲外である • 内部クロックのバッテリー障害 問題の詳細については、Web インターフェイスを参照してください ([Status] > [Health status] に移動)。
イーサネット ポートごとの状況		
	Act	グリーン このポートでパケットを送信中です。
	100	グリーン 100BASE-TX イーサネット リンクが確立されています。
	1000	グリーン 1000BASE-T イーサネット リンクが確立されています。
電源	青色	<ul style="list-style-type: none"> • 点灯：Media 820 は MSE 8000 シャーシから電源供給されて正常に動作しています。 • 点滅：Media 820 は MSE 8000 シャーシから電源供給されていますが、障害が検出されたため、Media 820 がシャットダウンされました。この場合、ブレードをいったん引き出して再挿入し、デバイスを再起動してください（スーパーバイザから再起動することはできません）。


* 管理ポートはお客様による保守用ではありません。Cisco TAC からの指示があった場合にのみ使用してください。


Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 の設置

 **重要**：Media 820 を MSE 8000 に設置して電源を接続する前に、<http://www.cisco.com/go/telepresence/safety> で安全に関する情報を確認してください。

注意：


正しい所要電力が確保されていて、PSU に十分な電力が供給されることを確認してください。MSE 8000 の電源供給については、[cisco.com](http://www.cisco.com) に掲載されているインストールガイドを参照してください。


 ブレードはホットスワップ可能なコンポーネントですが、ホットスワップで一度に取り外せるブレードは 1 つだけです。複数のブレードを同時に取り外す必要がある場合は、MSE 8000 の電源を切ってください。

 ブレードをホットスワップする前に、Web インターフェイスを使用してブレードをシャットダウンする必要があります。ソフトウェアアップグレードの実行中にブレードをシャットダウンしたり、シャットダウンする前にブレードを取り外したりしないでください。

MSE 8000 バックプレーンでは、ハイパフォーマンス データ コネクタが使用されています。Media 820 ブレードを不必要に取り外すと、これらのコネクタの寿命が短くなる可能性があります。

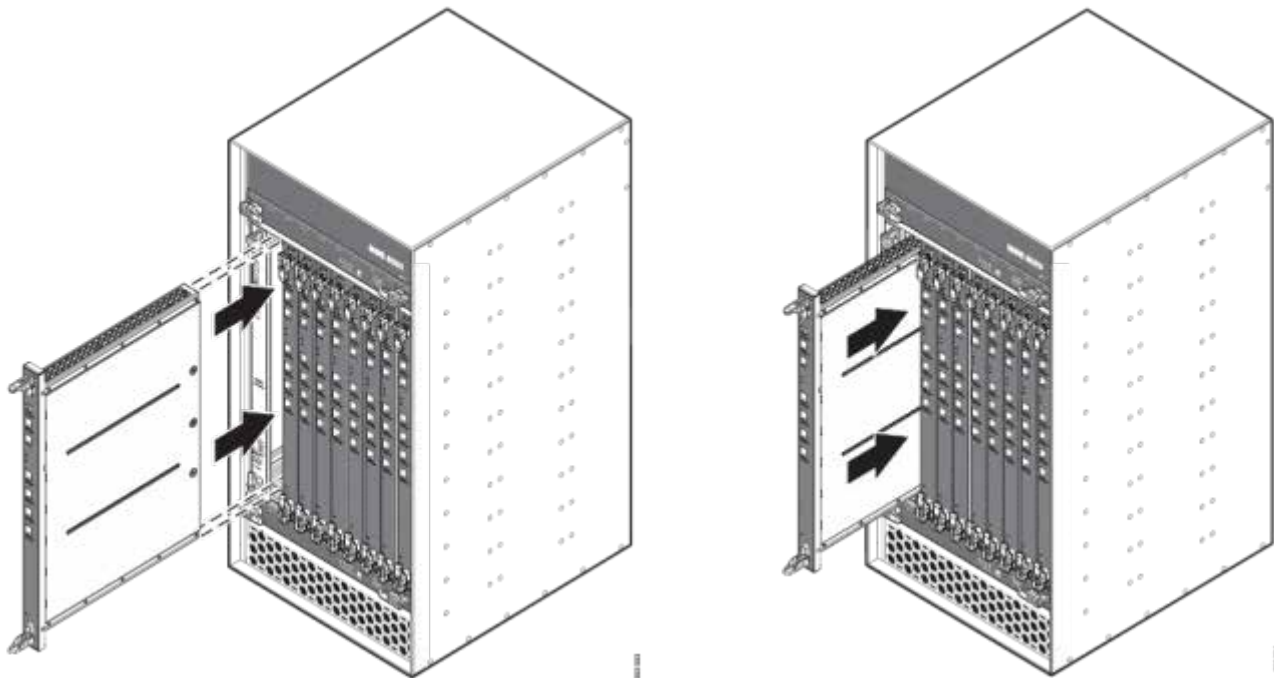
タスク 1：シャーシ内へのブレードの設置

 シャーシの 10 か所すべてに、ブレードまたはブランキング ブレードを設置する必要があります。

 Cisco TelePresence Supervisor MSE 8050 (スーパーバイザ) ブレードは、MSE 8000 シャーシのスロット 1 に設置する必要があります。

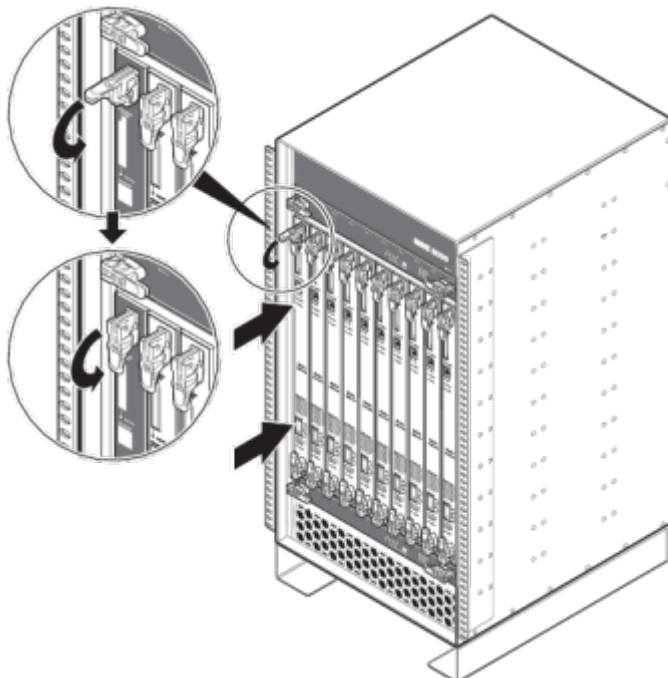
- Media 820 を設置するスロットから、ブレードまたはブランキング ブレードを取り外します。
 - No. 1 プラス ドライバを使用して、固定ラッチのネジを反時計回りに 4 分の 1 回転させて、ネジを緩めます。
 - ブレードまたはブランキング ブレードの前面にある固定ラッチの両方を、ブレードの前面に対して垂直になるように開きます。
 - ブレードまたはブランキング ブレードをスライドさせて引き出します。
- Media 820 の前面にある固定ラッチの両方を、ブレードの前面に対して垂直になるように開きます。
- Media 820 をブレード スロットに差し込んで、完全に止まるまでスライドさせます。

図 2：シャーシ内にブレードを挿入する



4. ブレード上の両方の固定ラッチを同時に閉じて（ブレード背面にあるコネクタをかみ合わせ）、シャーシ内でブレードを固定させます。

図 3：ブレード前面の固定ラッチを閉じる



5. No. 1 プラス ドライバを使用して、固定ラッチのネジを時計回りに 4 分の 1 回転させて、ネジを締め付けます。

ラッチを閉じると同時に、電源が自動的に接続されます。

タスク 2：イーサネット ポート A への接続

イーサネット ポート A とイーサネット スイッチをイーサネット ケーブルで接続します（ネットワーク上の他のデバイスによる干渉を最小限に抑えるために、ハブではなくスイッチを使用することをお勧めします）。イーサネット ポートは、自動検出により 100/1000 Mbps で接続されます。

注：イーサネット ポート B、C および D は、ブレードに付属のソフトウェアでサポートされていない場合があります。Web インターフェイスを使用してポートを設定できる場合を除き、これらのポートには接続しないでください。Web インターフェイスで指示されない限り、複数のポートを同じサブネットに接続しないでください。

Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 の設定

タスク 1：イーサネット ポート A の設定

Media 820 イーサネット ポートは、デフォルトで自動検出モードに設定されます。Media 820 を接続するスイッチ ポートが同じく自動検出モードに設定されているのであれば、Media 820 のイーサネット ポートが同じ速度およびデュプレックス モードを使用するように設定する必要があります。



両端のイーサネット接続を同じ設定にする必要があります。たとえば、リンクの両端を自動検出を行うように設定するか、両端を同じ速度とデュプレックス モードで動作するように設定します。



1000Mbps の接続を確立するには、リンクの両端を自動検出に設定する必要があります。

イーサネット ポート A を設定するには、スーパーバイザの Web インターフェイスにログインし、[Hardware] > [Blades] に移動します。ポートの設定の詳細については、スーパーバイザの Web インターフェイスからアクセスできるオンライン ヘルプを参照してください。

タスク 2：Media 820 への IP アドレスの割り当て

スーパーバイザの Web インターフェイスを使用して、MSE 8000 にインストールされているすべてのブレードの IP アドレスを設定できます。ブレードはいつでも DHCP が有効にされた状態で提供されるため、Media 820 は IP アドレスを検出しようと試みます。Media 820 が検出した IP アドレスの設定を維持することも、スーパーバイザの Web インターフェイスを使用してブレードにスタティック IP アドレスを割り当てることもできます。Media 820 の IP アドレスを表示または設定するには、スーパーバイザにログインし、[Hardware] > [Blades] に移動します。Media 820 の Web インターフェイスにアクセスするには、[Hardware] > [Blades] に移動し、該当するブレードの IP アドレスをクリックします。

タスク 3：ライセンスの割り当て

スクリーン ライセンスまたはマルチパーティ ライセンスのいずれかのモードを使用できます。TelePresence Server スクリーン ライセンスを使用する場合は、Cisco TelePresence Supervisor MSE 8050 の [Port licenses] ページを使用して、TelePresence Server のスロットにスクリーン ライセンスを割り当てる必要があります。スクリーン ライセンスの割り当てについての詳細は、スーパーバイザのオンライン ヘルプを参照してください。マルチパーティ ライセンスを使用する場合は、TelePresence Conductor のマニュアルを参照してください。

Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 ソフトウェアの設定

タスク 1：Media 820 へのログイン

Media 820 の管理は、すべて Web インターフェイスを介して行います。Web インターフェイスに直接アクセスするには、「[タスク 2：Media 820 への IP アドレスの割り当て](#)」（6 ページ）で割り当てた IP アドレスを使用するか、スーパーバイザで次の手順に従ってブレードの IP アドレスを調べてください。

1. スーパーバイザの Web インターフェイスにログインします。
2. [Hardware] > [Blades] に移動し、Media 820 の IP アドレスをクリックします。

デフォルトのログイン ユーザ名は `admin` です。パスワードはありません。

注：初回ログイン時に、デフォルトの管理者クレデンシャルを変更する必要があります。Web ユーザ インターフェイスを使用して初めてログインすると、[Change password] Web ページが表示されます。この Web ページには [No administrator password configured] バナーが表示され、デフォルトのクレデンシャルが変更されるまでは、他の Web ページ/設定/機能にアクセスできません。

タスク 2：Media 820 ソフトウェアの設定

正常にログインした後は、システムの設定や継続的メンテナンスを案内する Media 820 のオンライン ヘルプ システムを参照することができます。

これ以外のドキュメントは、Cisco TelePresence Server on Multiparty Media 820 サポート ページに用意されています。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps11339/tsd_products_support_series_home.html

アップデートのチェック

シスコの Web サイトで、デバイスの主要なソフトウェアのアップデートがないか定期的にチェックすることをお勧めします。ここでは、Web インターフェイスを使用してデバイスをアップグレードする方法について説明します。

アップデートの有無をチェックし、アップデートをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. Web インターフェイスにログインし、[Status] > [Status] に移動します。
2. 現在インストールされているソフトウェアのバージョンをメモしておきます。
3. Web サイトのサポート セクションに移動し、最新リリースが利用可能かどうか確認します。
4. 最新リリースが利用可能な場合、それをダウンロードしてローカルに保存します。

ソフトウェア アプリケーションをアップグレードするには、次の手順に従います。

1. ダウンロードしたソフトウェア リリース ファイルを解凍します。
2. Web インターフェイスで、[Configuration] > [Upgrade] に移動します。
3. [Main software image] セクションで [Browse] をクリックし、解凍したファイルの場所を指定します。
4. [Upload software image] をクリックします。

ブラウザがデバイスへのファイルのアップロードを開始し、新しいブラウザ ウィンドウが開いてアップロードの進捗状況が表示されます。完了すると、ブラウザのウィンドウが更新され、ソフトウェアのアップグレードが完了したことが表示されます。

5. [Configuration] > [Shutdown] に移動してデバイスをシャットダウンした後、再起動します。

注：デバイスをシャットダウンすると、すべての参加者との接続が切断されます。

トラブルシューティングおよびテクニカル サポートに関する情報

問題解決のためのイベント ログの使用

イベント ログを使用してデバッグ情報を生成し、あらゆる問題解決において技術サポートを支援することができます。イベント ロギングのキャプチャ フィルターのトピックは、デフォルトで [Errors, warnings and information] に設定されています。テクニカル サポートからの指示がない限り、キャプチャ フィルターのトピックのレベルを変更しないでください。

その他のヘルプの利用

Media 820 を設定または使用する際に問題が発生した場合は、ユーザ インターフェイスからアクセスできるオンライン ヘルプを参照してください。

必要な情報をオンライン ヘルプから得られない場合は、<http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html> の Web サイトを参照してください。このサイトでは、次のことが可能です。

- 最新のソフトウェアを実行していることを確認できます。
- シスコ テクニカル サポート チームによる支援を得られます。

問題を報告する前に、次の情報を揃えるようにしてください。

- 製品の識別情報（必要に応じてモデル番号、ファームウェアバージョン、ソフトウェアバージョンなど）。
- お客様の連絡先となる電子メール アドレスまたは電話番号。
- 問題の詳しい説明。

販売終了のためサポートされない可能性のある Cisco TelePresence 製品のリストを表示するには、

http://www.cisco.com/en/US/products/prod_end_of_life.html にアクセスし、「TelePresence」セクションまでスクロールダウンしてください。

シスコの法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅地で使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しなかった場合、無線通信障害を引き起こす場合があります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。干渉しているかどうかは、装置の電源のオン/オフによって判断できます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を移動します。
- 機器と受信機との距離を離します。
- 受信機と別の回路にあるコンセントに機器を接続します。
- 販売業者またはラジオやテレビに詳しい技術者に連絡します。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved.

Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

ハード コピーおよびソフト コピーの複製は公式版とみなされません。最新版はオンライン版を参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所、電話番号、FAX 番号は当社の Web サイト (www.cisco.com/go/offices) をご覧ください。

© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

シスコの商標または登録商標

Cisco およびシスコ ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、http://www.cisco.com/web/JP/trademark_statement.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)